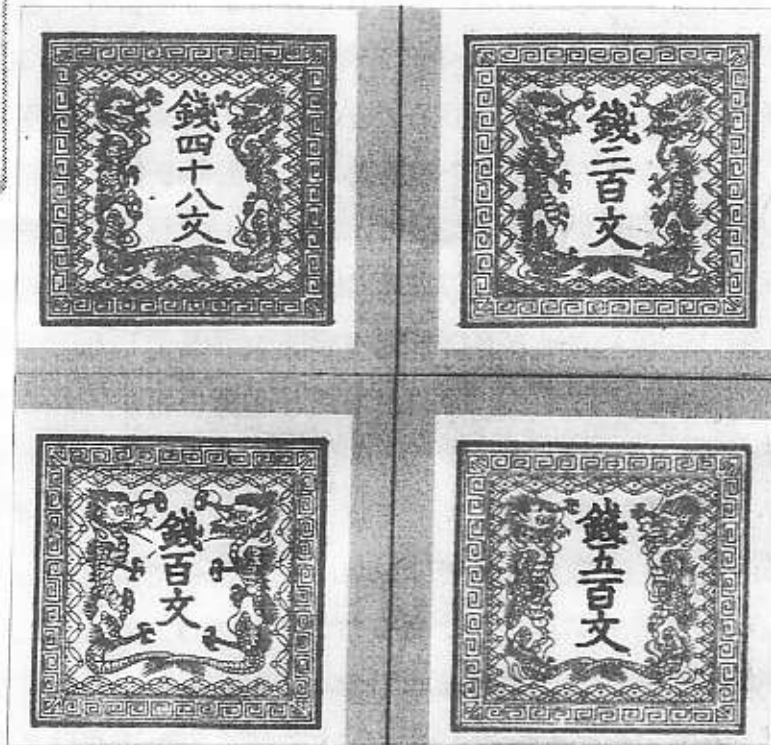
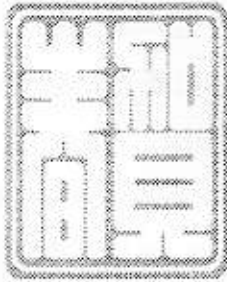


明けましておめでとうございます  
2012 謹賀龍年



永年住み慣れた清水を離れて奈良斑鳩へ来て九カ月が過ぎました。お世話になった皆様にご挨拶もせずに来てしまったことへの悔悟も含め、この地の多少のご紹介をと考えて「奈良・いかるが便り」を書き始めました。1～2回も出せれば良しと思い、号数は付けなかったのですが、励まされて書き、号数を付けて17号となりました。これも皆様のお陰です。今後もこちらの紹介をさせて戴ければ幸いです。

◇ 『せまいがひろせ』の皆さーん

いつもユニークな活動をされていることに敬意を表します。今年は庵原を題材とする「清水風土記」の取材もあると仄聞しています。広瀬が多くの人を呼び込んで大きな広瀬になりますようにと期待しています。なお、当地にも『広瀬神社』があります。一度、見に来てください。

◇ 『庵原中学校卒業』の同窓生の皆さん

還暦の会のVTRを和義君が送って呉れたのを見ました。皆さん、立派になられて貫禄も付いて、半分は誰が誰やら判りませんが、それぞれの場で活躍されていると思います。定年以後が大切です。身体にも気を付けて、奈良で同窓会を！

◇ 『清見鴻大学塾』の皆さん

奈良から見ると清見鴻大学塾の存在はまことに素晴らしく貴重なものです。(今までも密に自慢して他に誇っていたのですが、清水を離れて一層、その存在が輝いて見えます) 他にはない素晴らしさに磨きを掛けてさらに優れたものを創っていきましょう。

ポイント1 市民から講師を募ること。毎年、出来るだけ多くの人に講座を作ってもらえるように全員で塾を紹介し、新講師を発掘しましょう。

ポイント2 マンネリ排除。毎回の講座に工夫をし、活動を高めましょう。教える者が教わる人から教えられる素晴らしさをさらに高めましょう。

ポイント3 蒲原・由比方面に新講座が開設されました。これを山や海に広げて、高めましょう。仲間が増え、活動の場が広がるのが生命です。

◇ 『キイボード』の皆さん

新しいテキスト如何ですか？ 新曲にも挑戦してください。まだ提供できます。

◇ 『日中友好協会』の皆さん

まもなく春節。今年も興津へ集まって友好を確かめ合ひましょう。国と国はその時々難しい問題が生じやすいものですが、「一衣帯水」の人と人は信頼と友情で長続きさせねばなりません。カラオケ大会、バーベキュー会、親善旅行etc 何でもやりましょう。いろいろやりましょう。



## 歳末・新年 点描

初めての奈良の正月。いろいろと違いがあるだろうと期待していたが……

☆ **歳末** 一般商店街は活気が薄い。Xマス飾りの残骸や破れたサンタの風船などが残る。一方で〇〇モールの大型店舗は大変な賑わいで車の出し入れだけでも大騒ぎ。例によって自分勝手にルール無視の人が多いため、自己主張のクラクションが騒音を拡大するだけで、順序よい出入りが出来ない。  
私は例年使う文具を買おうとしたが、三軒共に売っていないのでサア大変。

☆ **除夜** 新聞によると大晦日には入場無料の社寺が多く、除夜の鐘を一般人に撞かせる寺もある。ただし、先着108人とか午前1時までの制限があり、自由で無料のところは少ない(そういうところは掲載せずか?)らしい。

夜11:30 龍田近辺はどうか? と耳を澄ませても何も聞こえない。法隆寺はどうなっているのか? 近くの寺からも鐘は聞こえず。いつも煩い暴走族も、パトカーや救急車の音もない。ご近所は他所で越年なのか人影がない。

その昔のわが家なら、小さい寺ながら大掃除に飾り付け、新年準備に大忙し。その最中に教え子たちが食料持参でやってきて学校・学年・男女を問わぬ交流会が始まる。紅白が終わるころ、小さい鐘を打つ人もおり、そのまま、初詣でなどに出て行く。(中には寝込んでしまい、わが家で雑煮を祝うのも居たけれど……。)

年明け12時過ぎ、裏の「大日如来」へ参拝の足音がして、鐘の音がする。6時頃からは梶原山初詣での人の列。下の境内では登山者を巻き込んでの新年会の準備も始まる。

☆ **初詣** これも新聞によると沢山の紹介があり、最も多い人出は梶原神宮の88万人。春日大社は50万人。大神神社48万人。生駒山聖天の宝山寺が25万人。信貴山は9万人で、これが奈良のベスト5。京都や大阪を入れると順位は大きく異なるらしい。大阪なら住吉大社。京都は伏見稲荷大社と平安神宮の人出が凄いとのこと。

臨時列車を増発していると聞いた。

あとで息子に聞いたところによれば、近くの龍田神社も相当な人出。龍田神社の元の神の三郷町「龍田大社」もかなりの人出とのこと。町内は至って静かである。



☆ 新聞 通常は僅か12pほどで夕刊はなく、休刊が多い奈良新聞だが、本日は第四特集まで64pもある。全て奈良に関する記事で、その中で最も難しいのは、

『混迷の時代に光り 無心の美 追求』と題した柳宗悦の「心傷」の紹介記事。

2～3句 紹介しますから皆さんも考えてください。「原文」(意識)

「持ツヤ ヒネモス オロガム幸セヲ」(一生拝むものを持つのは幸せ)

「幸イトド ムクイ 待タネバ」(見返りを期待せねば幸福あり)

「今ヨリナキニ」(只今が全てであり 今がなければ何もない)

難しく理解に苦しむが、『禅』の世界のことらしいです。

## ☆ お節料理とお屠蘇

わが家の女家紋は四角に○というまことに簡素なものだが、その昔、殿様が重箱に丸餅を入れて下さったのを記念したものといい、正月の雑煮は丸餅だった。関東へ転居して角餅になったらしい。奈良のスーパーは全て○なので昔へ戻る。しかし清水から送られて来た荷物には◇が一杯。○は伝統的。◇は合理的か？

祖母が元気だったころには『屠蘇散』が付き物。子供の頃は何か得体の知れない飲み物だったが、ちょっと嘗めれば終わるので問題はなし。今年は省略。

ついでに言うと、わが家の家紋は『夫婦蝶』である。長い歴史を持っていて、岡山の本家の山全体に昔からの墓が散在し、朽ち果てているのも多いが、それぞれの墓に蝶が付いている。似ているようで違いも様々。夫婦でなく一匹蝶もあり、中には一般的に有名な『揚羽蝶』もいる。伝承は難しいものです。

### 奈良新聞の読者文芸(俳句)と時事川柳から

国宝の塔の気品や冬に入り	生駒山 越えて吹かせよ維新風
鹿寄せのナチュラルホルンはベートーベン	秋篠や 冬陽一闪 残柿刺す
我が儘ッ子 親も我が儘七五三	“柿食えば” 廻らぬ舌で子が唱う
父立ってスイッチ入れし開戦の朝	神官や僧の子もいるクリスマス
同期生 またかまたかと訃報来る	寡黙だし地味だが光った人でした
当麻路や 両塔対峙 冬の雲	三輪山に法螺の音響く 神迎え
土瘦せて売り物もなく古都寂びし	滞納金100億円の奈良支庁
坂上雲 わが父祖たちは偉かった	黄海を くれぬ染めし中国船
木から見りゃ人の命はセミのよう	沖縄の 窓が小さくなる総理
寒風に阿修羅を真似て腕を振る	癒すこと信じて寺の鐘を掲ぐ

本年も宜しくお願い致します